

団体名	旭川工業高等専門学校						
事業名	留学生と地域住民の相互利益を指向した国際交流事業						
実施期間	平成30年5月～平成31年1月						
場 所	旭川工業高等専門学校 など						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	20		53	616	17	67	773名

<実施内容>

本事業では、旭川高専の留学生を中心とする外国人と小中学生を含めた地域住民が双方向に交流し、相互に理解できる機会を設けることを目的とし、「地域住民と共に行う茶華道体験」、「学校周辺道路花壇の整備活動」、「オープンキャンパスでの出身国の紹介」、「近隣小学校での遊びランドへの参加」、「学校祭での出身国の紹介」、「地域住民向けサイエンスイベント」からなる6つのプログラムを通年にわたって実施した。

「地域住民と共に行う茶華道体験」では、外国人学生が地域で活躍されている茶道・華道の先生の指導の下、茶華道を体験した。留学生にとっては、日本文化を学ぶと共に礼儀や作法を習得する絶好の機会となった。「近隣小学校での遊びランドへの参加」では、近隣の旭川市立高台小学校で開催される地域交流事業「遊びランド」に参加し、出身国の伝統的な遊びを小学生と共に行った。小学生は、夢中になって遊んでくれたため、留学生にとっても大変やりがいのあるものであった。「学校祭での出身国の紹介」では、毎年開催している本校学校祭の併設イベントとして、留学生の出身国のお菓子を試食できる「世界のおかし部屋」を実施した。本校留学生と日本人学生が協力し、来場の地域住民の方々にお菓子の試食を勧めた。また、出身国にまつわる説明や出身国のおもちゃ等を用意し、地域の小中学生を含む来場者が楽しみながら留学生と交流できるよう工夫した。普段目にしない外国のお菓子等もあり、来場者には試食と交流を十分に楽しんで頂けた。これら以外のプログラムでも参加した留学生は楽しみながら、地域住民の方々とは存分に交流することができた。

本校留学生を中心とする外国人にとって、本事業は日本文化及び地域社会やそこに暮らす人々の理解に繋がるかけがえのない機会となった。一方、小中学生を含めた地域住民にとってもこのような国際交流事業はあまり一般的でなく、外国を身近に感じる貴重な機会となったようである。

<記録写真>



茶華道の体験



地元小学生との交流



出身国のお菓子の試食と交流

<参加者からのコメント>

ナビルさん(マレーシア)/Mr. Nabil Mozac (Malaysia)

アミルさん(マレーシア)/Mr. Amir Fuhaira (Malaysia)

今回の事業では、いろいろなプログラムに参加しました。特に、海外のお菓子を旭川市内の日本人々に紹介した世界のお菓子部屋では、海外のお菓子を試食してもらったり自分の国の特徴を紹介する機会があつてすごく良い経験だと思えました。これらの事業を通して日本人と交流しながら日本の文化を学ぶことができました。参加して有益な時間を過ごせて本当に楽しかったです。

The event was quite fun as I could meet and talk with many Japanese people ranging from children to old people. The experiences are quite useful to me. Although the international snack prepared for tasting are not so large amount, the visitors are very happy with it.